

大学院ゼミ「博物館・文化財研究特別演習」で取り組んだ 「展示批評を書くⅢ—HIHYO:2024—」が完成しました！

大学院ゼミ「博物館・文化財研究特別演習」で取り組んだ「展示批評を書くⅢ—HIHYO:2024—」が完成しました！

今回は受講生がそれぞれの関心のある展示を取り上げた批評を寄せています。また、研究室の紹介やこれまでの書香の森展示の紹介も掲載していますので、ぜひお手にとってご覧ください！

文学部2階博物館学研究室にて配布中です。



HIHYO:2024

004 introduction

critiques

- 006 「モダニストの『蝶』詩人・安西冬衛と好太郎」から見る展示物の対話性
呉 穎容
- 010 ポスト印象派を「没入型」鑑賞で体験する
川口 侑莉
- 014 美術と美術の場
—建仁寺とアーティゾン美術館—
伊東 麗奈
- 020 色の心理学の博物館での応用
—AOAO SAPPORO を具体例として—
安 文森
- 024 ある図録の物語
—ALL ABOUT TOSHIO SUZUKI—
寺農 織苑
- 028 知里幸恵との向き合い方
石本 万象
- 034 エコミュージアムとミュージアムの脱植民地化
—「北広島エコミュージアムセンター知新の駅」の場合—
阿部 麟太郎
- 038 移り変わって行くのは、土地か人か
—小樽市総合博物館本館展示から—
高田 拓海
- 042 展示の解体で失われるもの
—清里町郷土資料館を見学して—
江口 佳穂
- 048 震災の記憶を言葉にして、日常に想いを馳せる
—石巻市震災遺構 門脇小学校の展示から—
新川 葉葉
- 052 編集のあり方
・メッセージのたて方
佐々木 亨

features

- 058 博物館学研究室とは？
- 061 書香の森展示・選
- 072 afterword
- 074 editor's notes